

- **ブロードバンド国際インターネットによる共同実証実験**
～日韓親善IPコントロールカーレース～
- 平成15年7月28日

独立行政法人通信総合研究所(以下、CRL。理事長:飯田尚志)は、8月1日、2日に施設一般公開を行います。この機会に韓国ソウル市東部に位置する私立総合大学で、1939年に創立され、60年余りの歴史を持つ漢陽大学とCRLを高速のインターネットで接続し、IPコントロールカー(インターネット遠隔制御模型自動車)とDVTS(デジタルビデオ伝送システム)を利用したインターネット遠隔制御技術に関する日韓共同実証実験を行います。

今回は、APIIプロジェクトの一環として、日韓協力の下、日本-韓国間を結ぶAPIIテストベッドプロジェクト回線(日韓海底ケーブル(KJCN)を利用)に日本の研究開発用ネットワークJGN、韓国先進研究ネットワークKORENを接続し、超高速ネットワークを使ったアプリケーションの実証実験として、IPコントロールカーレースを実施するものです。将来のブロードバンド国際インターネットを利用したアプリケーション開発に寄与するなどの波及効果が期待されます。

IPコントロールカーとは、インターネットで使われている無線LANを模型の自動車に搭載し、離れた地点からこの模型の自動車をインターネットを通じて制御できるようにしたものであり、遠距離でもカーレースを行うことを可能としたインターネット遠隔制御模型自動車です。

これまで、東京-神戸間を結んで実験を行ったことはありますが、今回のように国を超えた2国間で、カーレースを行うのは初めての実験です。



IPコントロールカーによるレース



運転中のドライバー

<連絡先>

(日本側)

企画部研究連携室 室長 五十嵐喜良

TEL:090-2469-7177

(韓国側)

17 Haengdang-dong, Seongdong-gu, Seoul, 133-791, Korea

漢陽大学工学部電子電気コンピュータ学科 教授 朴容震

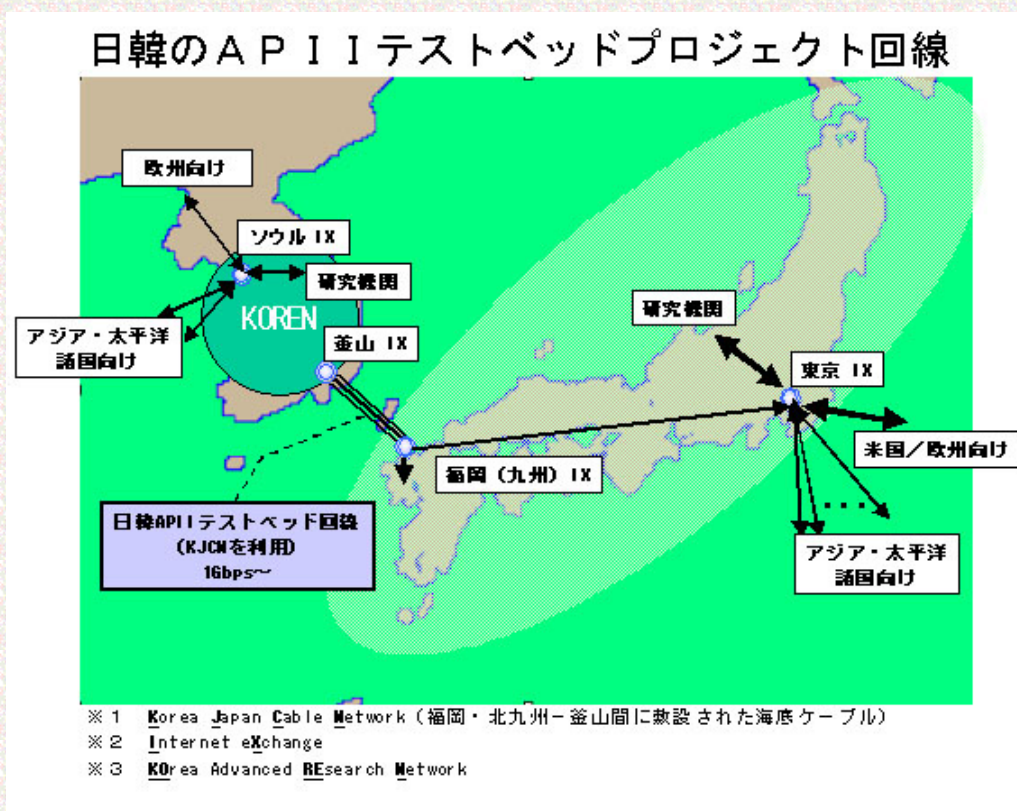
TEL:+82-2-2290-0355

日韓APIIテストベッドプロジェクト

1995年に開催されたAPEC (Asia-Pacific Economic Cooperation: アジア太平洋経済協力) 第1回情報通信大臣会合において、アジア太平洋諸国情報通信基盤 (APII: Asia Pacific Information Infrastructure) を高度化していくための方策として、アジア・太平洋地域の研究機関等を結び情報通信分野の研究開発を推進するためのテストベッドの必要性が提唱されたことを受けて、日韓の情報通信主管庁 (日本: 総務省、韓国: 情報通信部)、通信総合研究所、各種研究機関等の協力より開設したテストベッド・プロジェクト。

本年4月より、KJCN注を利用して日韓間にギガビットクラスのテストベッド回線を開設し、高速回線の特徴を生かした国際共同研究・実験を推進している。

(注)KJCN (Korea Japan Cable Network)とは、昨年3月から利用開始された福岡・北九州ー釜山間の約250 kmに敷設された無中継の光ファイバ海底ケーブルであり、昨年3月から運用開始。



IPコントロールカー



内部の様子